



5月10日、市民講座「森林療法講座」が、旭ヶ丘公園で開催されました。

これは、豊かな森林を楽しみながら健康増進を目指そうと、市教委が主催し、NPO法人北海道森林療法研究会の指導で毎年行われているものです。

当日は、16人が参加。同研究会理事の中村正雄さん(旭川医科大学名誉教授)の指導で、血圧とストレス度を計測した後、思い思いの足取りで満開の桜を眺めたり、若葉が出たばかりの樹木の名前を確かめたりしながら約1時間森林の中を散策しました。歩いた後は再び血圧などを計測し、森林のリラックス効果を実感していました。

森林でリラックス
林業を知り、親しみ

旭ヶ丘公園で森林療法講座

15回目の元気森森まつり開催

5月19日と20日の2日間にわたって、芦別林産フェスティバル元気森森まつりが、道の駅スタープラザ芦別特設会場で開催されました。

市民の皆さんに林業について理解を深めてもらうとともに、広く市外の方にも「林業のまち・芦別」をアピールしようと開催され、今年で15回目。

19日は雨模様となったものの、20日は絶好の天気にも恵まれ、丸太切り=写真=や木工作などの体験には、多く子どもたちが参加したほか、チェーンソーアートの実演や高性能林業機械のデモンストレーションなどが行われ、会場は終日にぎわっていました。



まちをきれいに 全市一斉クリーン作戦が行われる



5月13日、「全市一斉親子クリーン作戦」が行われました=写真。

これは、身近な場所の清掃活動を通して、きれいで住みよいまちづくりをしようと毎年、市内のほぼ全ての町内会で行われているものです。

当日は、朝から雨模様となりましたが、家族や町内会のボランティア

グループなどが一斉に繰り出し、公園や道路わきなどに落ちているたばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどのごみを拾い集めました。

参加した方は「ふだんから、ごみをポイ捨てしないように気をつけて、ごみのないきれいなまちにしたいですね」などと話していました。

本市で高校野球空知支部予選大会が行われ14チームが参加

春季北海道高校野球大会空知支部予選大会が、5月12日から21日まで、芦別市民球場で開かれました。本市で高校野球空知支部予選が行われるのは、平成21年の第62回秋季北海道高校野球大会以来9年ぶりです。

同大会には、夕張・月形・深川東による3校連合の1チームと芦別、

滝川など合わせて14チームが参加しました。

球場では、熱心な高校野球ファンが、懸命にプレーする選手たちに熱い声援を送る姿が見られました。芦別高校は、13日の1回戦では美唄尚栄に快勝しましたが、2回戦は栗山に惜しくも敗れました。

